

秋シーズン直前 デビュー応援企画
オンライン「超」入門 団体バスツアーの準備練習会
(主に日本語)
2024年8月30日(金)、9月4日(水)(追加設定)
〈終了報告〉

8月30日(金)13:00~17:00 (17:25頃まで延長) 参加15名(会員14名、非会員1名)
9月4日(水)13:00~17:00(17:25頃まで延長) 参加13名(会員6、非会員7)

団体バスツアーで求められるガイドの役割を確認して、準備をするための練習会を実施しました。バスツアーに向けて何から準備してよいか分からない、何を言ったら良いかわからないというガイドさんの声や、バスツアーをできるガイドさん求む！という旅行会社さんからの声を受けて、秋シーズンに間に合うよう急ぎ企画しました。これまで旅行の仕事や「人を案内する」仕事の経験がなかった方にも、バスツアーを何度かやってみただけだと確信がもてないという方にも幅広くご参加いただいて基本を確認する機会となるよう、主に日本語の「超」入門研修としました。

新企画でしたが、申込み受付開始と同時に多くに申込みがあり、キャンセル待ちが出たため追加設定をして2回の実施となりました。英語、フランス語、ドイツ語、イタリア語のガイドさんが参加。オンライン研修のメリットで全国各地からご参加がありました。

モデル日程を使ったバス内でのアナウンスの練習は、観光地への到着前、朝の出発時、食事前など、想定した場面に応じて「今伝えなくてはならない事は何か」を整理して考える練習です。団体をとりまとめ、スムーズに誘導できるよう適切な案内をするためには、事前に何を確認したり調べたりしておかなければならないか。お客様から出そうな質問はないか。必要な段取りがあるか。参加者も意見を出し合って考えながら基本を確認しました。この作業が団体バスツアーの準備にもなります。聞き手のお客様にとっての分かりやすさを考えることもガイドにとっては大切なこと。まずは地名や名称の羅列にならないように意識して練習しました。

バスツアーでは車窓も大事。通りすぎる短い間にコンパクトに案内する練習では、車窓の何について話しているのかお客様に分かるよう描写することをあわせて練習しました。一方で、長い移動の時にはトピックに困るという声も聞きます。車窓を手がかりに話題をどうふくらませるかアイデアを寄せ合いました。

参加者からは、「お客様の観点で説明の仕方や話し方を考える気づきになりました。」「『超入門』とはいっても実践に即した内容で、自分では気づかない点を気付かせてもらえました。」「手探りでバスツアーをやりましたが、今回あらためて整理できました」「他の参加者のやり方がとても参考になりました」「ツアーをシミュレーションしながら、参加者全員で、ここで何が必要か考えながらの研修で勉強になりました。」「準備をしておけばバスツアーも挑戦できると思えました」などの感想がありました。

前半は情報を整理するために日本語で、後半は登録言語での案内にもチャレンジしました。皆さん積極的に練習され、集中した時間となりました。団体バスツアーは、FITと比べて行程が固まっており、バス内の話題を含めて、事前の準備はしやすいとも言えます。今回の準備練習を手がかりにできる限りの準備をしてツアーに臨まれ、ご活躍されますことをお祈りしています。

(講師・担当 伊藤淳子)